

☆認定ベビーシッター資格登録更新手続きのお知らせ

2013年度（2014年3月）迄の卒業生で認定ベビーシッター資格を取得された方は、登録更新を迎えましたので、お手続きをお願いいたします。

なお、資格更新期限は5年間となっておりますので、お手許の登録証（カード）を確認のうえ、更新の該当年度にはお手続きいただきますようお願いいたします。

※手続き窓口は右記参照⇒

【手続き窓口】

公益社団法人 全国保育サービス協会  
 (旧称：社団法人 全国ベビーシッター協会)  
 〒160-0017 東京都新宿区左門町6-17 三王商会四谷ビル7F  
 TEL 03-5363-7455 E-mail info@acsa.jp  
 ※手続きの詳細はこちらのURLへ  
<http://www.acsa.jp/index.htm>

☆「保育実践力育成プログラム (BP) —保育の学び直しプログラム—」のご案内

本プログラムは、保育の現場で働く人材の確保のために、しばらく職場を離れていた幼稚園教諭や保育士が職場復帰を希望する際や、資格を持ちながらも働いていない保育士等に対して、最近の保育の状況・動向等を現場実習も含めて学び直すことができるようなプログラムを提供するものです。

この講座の特徴は、自信を持って職場復帰することができるように新しい保育制度や家庭支援等の理論、アレルギーや危機管理等の保育配慮事項、保育実践等の内容、および現場実習で編成しています。また、本プログラムの内容は、現職の保育士が「質の高い保育」を実施するために重要な事項も含まれており、現職研修としても活用できるように計画的に構成しています。

「保育は人の手によって行われる営み」であり、子どもの育ちに大きな影響をあたえるのは「保育者」です。本講座の受講者が、より高度な専門的知識や技術を修得し、今後保育のリーダーとして活躍できる力を育成することを目指しています。

<プログラムの概要>

- 受講要件：①幼稚園教諭免許または保育士資格を有すること。  
②全期間受講できること。
- 受講期間：2020年4月～2021年3月（1年間）
- 開講科目：保育と研修（集中講義）、保育実践（実習）  
保育学研究演習（演習）  
（BP）修了証書を発行いたします。



※寄付金のお願い ～卒業生の皆さまから、学生支援のために～

本学では、学生生活支援および教育研究環境の充実のために、寄付金を募集しております。寄付金のお申し込み及びお問い合わせについては、下記までご連絡をお願いいたします。なお、寄付金のお申し込みの際には、「聖和短期大学のために」と申し添えください。

（※ご協力いただいた寄付金は個人、法人ともに税制上の減免措置を受けることができます。）

～2020年度の主なスケジュール～  
 (2020年4月～2021年3月)

入学式	2020年4月1日
夏のオープンキャンパス	2020年6月6日、7月26日、8月1日
ホームカミングデー (関西学院大学西宮聖和キャンパス大学祭日)	2020年11月15日
短期大学クリスマス礼拝	2020年12月10日
冬のオープンキャンパス	2020年12月13日
卒業感謝礼拝	2021年3月16日
卒業式	2021年3月17日
春のオープンキャンパス	2021年3月20日

お問い合わせは全て下記へご連絡ください  
 連絡先 聖和短期大学事務室  
 住所 〒662-0827 西宮市岡田山7-54  
 TEL 0798-54-6504  
 E-mail tandai-jimu@kwansei.ac.jp  
 URL [https://www.kwansei.ac.jp/seiwa\\_j\\_college/](https://www.kwansei.ac.jp/seiwa_j_college/)

2020年3月1日発行

学校法人関西学院 聖和短期大学  
 学長 千葉 武夫

※上記日程は予定です。変更等がある場合は、聖和短期大学ホームページにてお知らせしますので、ご確認ください。

卒業生の皆さまには、ますますご活躍のこととおよこび申し上げます。さて、今年も聖和短期大学通信を、お手元にお届けいたします。開設10周年を迎えた聖和短期大学の『今』を、先生方からの近況報告とともに伝えたいと思います。学生時代のことや聖和キャンパスを思い出しながらご一読ください。

聖和短期大学開設10周年を振り返って

開設10周年記念式典

聖和短期大学はメアリー・イザベラ・ランバス先生によって1880年に創設、関西学院は1889年にウォルター・ラッセル・ランバス先生によって創設しました。母親と息子というランバスファミリーが創ったこの2つの学校は、2009年にひとつの組織となりました。

本学の教育目標は「キリスト教主義に基づく豊かな人間性、保育に関する専門的知識と実践力を兼ね備え、子どもの最善の利益に貢献できる保育者の育成」とし、子どもの幸せを願いつつ保育者養成をその使命としてきました。

本学は、幼い子どもへの教育・保育の重要性について訴えてきましたが、大人社会での評価は高くない時もありました。しかし、今、幼児教育は世界的にも注目を浴びています。長きにわたる研究や調査によって、幼児期にどのような育ちをするのかによってその後の人生が大きく異なることが明らかになってきました。このことは、関西学院のスクールモットーとなっている“Mastery for Service”（隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛える）の精神の浸透が益々期待されることになるのではないのでしょうか。この精神をこれから関わる多くの子どもに伝え、多くの人々が「真に豊かな人生」を歩むことの支援をし続けることこそが、本学の使命であると存じます。

さて、2019年9月11日に開設10周年記念式典を、関西学院上ヶ原キャンパスの中央講堂で行いました。式典の第Ⅰ部は、記念礼拝で、讃美歌「あめつちの主なる」（旧校歌）を歌い、開設10周年に寄せて舟木譲関西学院院長の式辞、中川香子教授による「聖和の保育の歴史」、そして、学歌「新しき歌」を保育科2年生が歌いました。上ヶ原キャンパスで「新しき歌」が流れたのは意味深いものでした。第Ⅱ部では、関西学院大学グリークラブによる演奏（「Old Kwansei」、校歌「空の翼」等）がありました。その後、関西学院会館において情報交換会を行い、平松一夫理事長が合併の際のunionの精神を話してくれました。山村 慧元聖和大学学長にも参列いただき、合併の歴史を振り返る機会となりました。



10周年記念式典  
 学歌「新しき歌」2年生有志（中央講堂）



10周年記念式典情報交換会  
 山村慧元聖和大学学長

10年間の成長

この10周年を振り返ってみると次のようなことがありました。校舎では、メアリー・イザベラ・ランバスチャペル、キリスト教教育・保育研究センター、おもちゃとえほんのへやなどがある山川記念館の建築、ラーニングcommons、ミュージックラボ、保健館、学生相談室などがある新2号館の建築をしました。保護者対象の行事としては、教育懇談会、地区別教育懇談会をそれぞれ年1回開催しています。教学支援としては、履修登録、授業評価、学生への連絡がスマートフォンでできる今の時代に即した教育システムが稼働しています。他にも、現職保育者の再教育の場としてキャリアアップ研修（西宮聖和・大阪梅田キャンパス）を開催し、これまでに延1,100人が受講しています。

また、来年度の入試から、保育者になりたいと強い意志を持つ人を獲得するために、幼稚園・保育所・認定こども園でボランティアなどをしてきた高校生を園長先生が推薦する入試制度も新設することにしました。

時代に合わせて変化しつつあるこの聖和を、今後もあたたかくご支援くださいますよう、よろしくお願い致します。

学長 千葉 武夫

ホームカミングデー

西宮聖和キャンパス大学祭にあわせてホームカミングデーが開催され、約30名の卒業生が集まりました。ダッドレーチャペル（旧館チャペル）で礼拝の後、1号館にて軽食を囲みつつ、懐かしい友人・先生たちと和やかなひと時を過ごしました。来年度も多く卒業生の方々とともに楽しい時間を過ごせることを教職員一同、心よりお待ちしております。



この度、2020年3月31日付で、中川香子教授がご退職されることになりました。中川教授は長きにわたり聖和の発展にご尽力されてきました。これまでの様々な聖和との思い出や感謝を綴ったメッセージを頂きましたので、ここにご紹介いたします。

## 退職にあたって

中川 香子

春の柔らかな陽射しを感じる季節となりました。卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。私は、この3月末をもちまして、42年間勤めさせていただきました聖和短期大学を退職することになりました。

聖和キャンパスには美しい森があります。私はその森に見守られながら、約半世紀をここで過ごすことができました。私が学生として聖和に入学し寮生活を送り始めた頃は、森の木々はまだ小さく、下草の中に季節の可愛い花が咲き、寮生にとっては自分たちの庭のような場所でした。この小さな森で寮の仲間といっしょにお喋りをしたり、歌を歌ったり、ゲームをして遊んだり、ときには静かな祈りの時間をもったりして過ごしました。

大学院を卒業して南聖和幼稚園の教諭になると、しばしば子どもたちといっしょに森に遊びに出かけました。子どもたちは森の中で体も心も解放され、そこでいろいろな発見をしては感動し、創造的に遊びを展開していきました。子どもにとって自然の大切さを教えてくれたのもこの森でした。大学の教員になってからは、伝承遊びの授業で、学生たちといっしょに「かくれんぼう」や「かごめかごめ」、「だるまさんがころんだ」などをして遊びました。大人になっても、このような遊びが、人の心と体を生き生きとさせてくれることを学んだのもこの森でした。そして森は、半世紀の間に、木々の背丈を伸ばし、豊かに葉を茂らせ、花を咲かせる誰もが愛する「聖和の森」となりました。

私は30年ほど伝承遊びの研究を続けてきましたが、最初の題材は「かくれんぼう」でした。そのヒントを与えてくれたのは、聖和の森から聞こえてくる「もういいかい」「まーだだよ」という子どもたちの遊ぶ声でした。伝承遊びについて調べているとその魅力はつきることがなく、まるで深い森に分け入っていくように、ささやかながらも研究を続けることができました。そしてそれは、「人と環境」などの授業で、学生と一緒に子どもの遊びの大切さについて考えるために役立てることができました。学生が卒業して保育者や親となったときにも、伝承遊びを子どもたちに遊び伝えてほしいと願いながら授業をしました。

もう一つの授業「保育内容表現」は、子どもの創造性の研究から始まりました。美術や図画工作が決して得意なわけではなかったのですが、表現や美術専門の先生からご指導や刺激を受けながら、学生が楽しく意欲的に取り組める授業を模索し続けました。子どもでも大人でも、様々な材料や道具を使って、自由に、そして工夫しながら自分のイメージを表現できると、心の底から力が湧いてきます。学生たちが集中して活動に取り組む姿をみるたびに、創造性育成にとっての造形表現の大切さを確信しました。また、アメリカのトールンス創造性研究所に1年間留学させていただいたことは、教員生活のよい思い出となりました。

聖和短期大学には、保育者養成校として素晴らしい伝統と充実した教育内容があります。その環境の中で、多くの方々にご指導をいただきながら教育と研究にうちこむことができましたことは、ほんとうに幸せでした。また、保育者をめざして熱心に勉学や実習に取り組む学生たちの姿は大きな励みであり、卒業生の皆さまのよき働きはいつも誇りでした。言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。聖和を離れても「子どもとともに生きる」ことを大切に、これからの日々を歩みたいと思います。いつも神様がともにいてくださいます。皆さまどうぞお元気にお過ごしください。



聖和の森



元祖アクティブラーニング「造形祭り」



ゼミ作品展

## 碓氷研究室より

月日が経つのは早いもので、私が聖和短期大学に勤務するようになって15年目になりました。毎日慌ただしく過ごしているうちに、いつの間にか15年も経ってしまったのか…というのが今の心境です。

実習先に挨拶に伺うと、多くの卒業生が活躍されている姿を見かけます。新人の方からベテランになった方まで、それぞれが役割を果たされていて、よく園長先生や他の保育者の方から「がんばっていますよ」「頼りにしているんですよ」などと言ってもらい、とても誇らしく思っています。日々の保育の業務で大変な中、聖和の実習生を指導していただき、いつも感謝しています。また、時々研究室を訪ねてくれる卒業生の中には、保育以外の仕事をされている方もいて、違う世界の話聞かせていただくのも楽しく思っています。

私は、以前勤めていた病棟保育士の仕事を活かし、2009年から聖和幼稚園（現関西学院幼稚園）のご協力のもと、慢性疾患児など医療的ケアの必要な子どもを対象に、週に1回の病弱児保育を始めました。昨年までの10年間続けてきましたが、そこで関わった子どもは26名になります。最初は緊張気味だった子どもが通ってくるうちに慣れて、笑顔で楽しそうに遊んでいる姿を見たり、成長を感じる場面を見ると、保育の仕事はこの喜びがあるから続けていけるんだなと実感したものです。そこでは病児保育に関心のある学生たちが手伝ってくれたこともあり、子どもたちが楽しく過ごせるようにと、学生たちがいろいろと準備をしてくれて、行事を一緒に行ったり、クッキングをしたりし、子どもたちやお母様たちがとても喜んでくださったことは私にとっても嬉しい時間でした。

ゼミでは、病児の保育に関心のある学生が集まり、子どもの病気やケガ、病児保育に関する研究をしています。私のゼミ生だった方の研究レポートは、今でも在学生の良いお手本となっています。研究の一環として、病院に見学に行ったり、病棟保育士にインタビューをしたり、病児保育室でボランティア活動をする学生もいます。病棟保育士になりたいというゼミ生は毎年多くいますが、保育士を置く病院はまだ少なく、なかなか難しい状況ですが、いつか病棟保育士として働くゼミ生が出ることを楽しみにしています。

聖和では、毎年ホームカミングデーや研修会など、卒業生が参加できる行事を開催しています。ぜひ参加がてら、お顔を見せてください。楽しみにお待ちしております。

これからも皆様のご健康とご活躍をお祈りしています。

## 保育士等キャリアアップ研修

聖和短期大学では、すでに現場で働く保育士等が、より高度な専門的知識や技術を修得し、今後、保育のリーダーとして活躍できる力を育成することを目的として、「保育士等キャリアアップ研修」を実施しています。

2019年度は、兵庫県と大阪府からそれぞれ指定通知を受け、西宮聖和キャンパスおよび大阪梅田キャンパスで7分野28講座を開講しました。

2020年度以降の開講日程については、決まり次第、HPでお知らせします。ご興味ある方は、ぜひ受講してみてください。



## 教員の異動をお知らせします

◇就任 大北 理津子専任講師（2019年4月1日付）



大北理津子（Ohkita Ritsuko）

- ①職位：専任講師
- ②専門：保育学
- ③趣味：音楽鑑賞、ウォーキング

④抱負：

卒業生の皆様、はじめまして。私は聖和大学卒業後、幼稚園を中心に保育の現場で働いておりました。2019年4月に聖和短期大学に着任し、保育内容に関する科目や実習関係等を担当しております。キリスト教主義に基づく教育を大切に思い、保育の道を志す学生の皆さんと共に成長できる教員となれるよう精進してまいります。卒業生の皆様ともお目にかかる機会がございましたら幸いです。どうぞよろしくお願い致します。